

新しい外国語指導助手(ALT)が赴任しました



ライエン先生

アリゾナ州の北側には有名なグランドキャニオンがあります。

町内の小中学校で2年間英語を指導したジェシカ・パーカーさんがアメリカに帰国し、新たにアメリカのアリゾナ州よりライエン・ジョンソンさんが赴任しました。

△ライエン先生の自己紹介
私の名前はライエン・ジョンソンです。ライエン先生と呼んで下さい。

私はアメリカのアリゾナ州のツーソン市から来ました。アリゾナはカリフォルニア州の隣でメキシコの北側に位置しています。アリゾナはほとんど砂漠で、サボテンがたくさんあります。

私の趣味は外国語を勉強することです。英語、日本語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語、フランス語、ルウエー語、中国語、韓国語を話すことができます。また、空手と太極拳を練習することが好きです。家では、本を読んだり、日本語のテレビを見たり、日本語を書いたり読んだりして日本語の勉強をしています。

私の夢はいつか日本語を上手に話せるようになることと、日本にずっと住むことです。

皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

新任教職員の町内巡り

今年度、南部町に新しく赴任した小中学校の先生に、南部町の文化や歴史への理解を深めてもらおうと、8月19日に町内を巡る研修会を開催しました。

社会科や総合的な学習に役立ててもらおうように、法勝寺公会堂(一式飾り)、法勝寺城址、長田神社、祐生出会いの館、こもれび工房、清水井、赤猪岩神社、寺内八号墳、吉持家などを見学しました。

参加した先生には「南部町には素晴らしい歴史や文化がたくさんあることが分かった。南部町への興味が増した。」と好評でした。



長田神社で説明を聞く参加者の皆さん

「全国学力・学習状況調査」について

今年度の全国学力・学習状況調査は、都道府県別比較をするために、全国で約3割の抽出校が選出され実施されました。南部町では、会見小学校が抽出校に選出され参加しました。その他の小中学校は希望参加が可能でしたが、本町では参加を見合わせました。

その主な理由は、

- ① 過去3年間の参加で、南部町の児童生徒の一定の特徴・傾向が把握できた。
- ② 町内の小中学校では、以前より鳥取県独自の診断テストや全国標準学力テストなどを行っており、児童生徒個人や学級・学年の状況について十分把握ができる。
- ③ 全国学力・学習状況調査の主目的が、国全体の状況や都道府県ごとの学力等の状況を把握・検証することになった。

こうしたことをふまえ、本町では本年度より、授業力の向上や分かりやすい授業の実践、家庭教育の充実、保・小連携、小・中連携など学力向上に視点を当てた取り組みを推進していきたいと考えています。